

ハートランド平尾台株式会社

I 法人の概要 (平成 24 年 4 月 1 日現在)

1 所在地	北九州市小倉南区平尾台一丁目 1 番 1 号
2 設立年月日	平成 8 年 4 月 1 日
3 代表者	代表取締役 太田 一敏
4 資本金	364,800 千円
5 北九州市の出資金	88,200 千円 (出資の割合 24.2%)
6 役員数	・役員数 9 人 うち常勤 1 人 (うち北九州市からの派遣職員 0 人) うち非常勤 8 人 ・職員数 7 人 (うち北九州市からの派遣職員 0 人)

II 平成 23 年度事業実績

1 事業の経過及び成果

(1) 経過

ハートランド平尾台(株)は、「平尾台自然環境保全及び平尾台上住民の生活並びに産業活動の均衡ある発展に貢献するとともに、都市及び近郊住民が心身ともにリフレッシュできる場を提供する。」を設立の目的にしている。現在は、北九州市及び福岡県からの指定管理業務が主たる事業となっている。

平成 23 年度は、北九州市から「北九州市平尾台自然の郷」を受託して 3 年目(指定管理期間 5 年間)、福岡県から「福岡県平尾台自然観察センター」を受託して 3 年目の最終年(指定管理期間 3 年間)にあたった。

このような状況のなか、指定管理業務の質の向上と経営の安定をめざした事業を実施したが、この一年のわが国の経済情勢は、「東日本大震災」、「タイ国の洪水」さらには、ヨーロッパの金融危機にともなう急激な円高など、一年を通じて先行き不透明感が続き、このことが、余暇や観光を取り巻く環境を悪化させ、入園者数や売上高に影響を与えた。

(2) 成果

① 入園者数 301,655 人(平尾台自然の郷)

入園者数は、上半期 203,611 人(67%)、下半期 98,044 人(33%)となった。11 月 23 日には、開園後、8 年 7 ヶ月で延べ入園者数が 300 万人に到達した。

この一年は、土、日及び休日の天候不良が多く、また、冬場に寒冷現象が続き入園者数を減少させた。しかしながら、春の「トレイルランレース」、秋の「平尾台自然音楽祭」、冬の「平尾台ふゆはなび」や「平尾台クロスカントリー」などの天候に恵まれた日に開催できたイベントやゴールデンウィークには、たくさん入園者があった。

② 売上高 238,774 千円

売上高は、238,774 千円となっている。経常利益は、7,874 千円となり、法人税控除後の当期純利益として、3,472 千円を計上することができた。

事業別売上構成は、次のとおりである。

- ・運営などの受託部門 192,258 千円

・ 飲食部門	16,844 千円
・ 物販部門	18,274 千円
・ その他の直営部門	11,398 千円

③ 指定管理者の指定

「福岡県平尾台自然観察センター」の指定管理業務について、新たに、福岡県から指定管理者の指定を受け、平成 24 年度からの 5 年間になった。

2 主な事業の実施事業

(1) 「平尾台自然の郷」の入園者増加策、販売促進、PR 活動など

- ① 春のゴールデンウィーク期間と秋の行楽シーズン期間の入園者が多い時に、入園者数の上乘せ効果を期待して、恒例となっている「平尾台ブラスバンドフェスタ」などのイベントを集中させて実施した。
- ② 冬期は、入園者数が減少するので、集客効果が大きい「平尾台ふゆはなび」などのイベントを実施した。
- ③ 新たな入園者を開拓するために、「平尾台冒険王国」キャンペーンを行った。このキャンペーンには、テレビ局、新聞社などの取材を積極的に誘致してパブリシティ宣伝効果を果たした。
- ④ 公益的なプログラムとして、学校教育の「環境体験科」授業を積極的に受け入れた。
- ⑤ レストランでは、量り売りバイキング「ピクニックランチ」を販売した。
- ⑥ 春、秋の行楽シーズンにあわせて、情報誌を使った企画広告と新聞折込みチラシを使ったイベント情報広告を実施した。

(2) 「平尾台自然の郷」の施設整備

大型砂場が新設され、親子、団体などの幅広い年代の多くの入園者に利用された。また、アジサイやシバザクラの花畑を新、増設し入園者に喜ばれた。

(3) 「福岡県平尾台自然観察センター」では、自然保護やフィールドの巡視などを実施した。

Ⅲ 平成23年度決算

貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	470,418	流動負債	21,618
現金預金	445,884	買掛金	1,539
売掛金	14,900	未払金	4,121
商品	8,691	未払費用	7,239
原材料	621	未払法人税等	3,200
貯蔵品	322	未払消費税等	1,574
固定資産	57,937	預り金	1,260
(有形固定資産)	(57,646)	賞与引当金	2,685
建物	2,581	負債の部合計	21,618
構築物	212	純資産の部	
車両運搬具	88	科目	金額
器具備品	3,049	資本金	364,800
土地	51,716	資本剰余金	73,838
(無形固定資産)	(291)	其他資本剰余金	73,838
電話加入権	291	資本金及び資本準備	73,838
		金減少差益	
		利益剰余金	68,099
		繰越利益剰余金	68,099
		株主資本合計	506,737
		純資産の部合計	506,737
資産合計	528,355	負債及び純資産合計	528,355

損益計算書

(自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日)

(単位：千円)

科目	金額	
(営業損益の部)		
営業収益		238,774
売上高	238,774	
営業費用		231,528
売上原価	210,332	
販売費及び一般管理費	21,196	
営業利益		7,246
(営業外損益の部)		
営業外収益		628
受取利息	230	
その他の営業外収益	398	
営業外費用		0
開業費償却		
その他の営業外費用	0	
経常利益		7,874
税引前当期純利益		7,874
法人税、住民税及び事業税		4,402
当期純利益		3,472

Ⅳ 平成24年度事業計画

1 「平尾台自然の郷」の指定管理事業

- ・「トレイルランニング」、「クロスカントリー」、「夏の高原ピクニックコンサート」、「自然音楽祭」、「観光祭」、「野焼き」など春と秋の行楽シーズンを中心としたイベントを積極的に実施する。
- ・工房の各種教室や講座の実施、ケイビング、カルストツアーなどのガイド事業、冒険王国の実施などで入園者のリピート率を向上させる。
- ・年間を通した日ごとの入園者を予測した「オペカレ」を作成し、これによるスタッフの効果的な配置をする。
- ・飲食部門では、ピクニックランチを継続するとともに、商品単価の見直し、イベント時に飲み物・スイーツなどを販売する。

2 「平尾台自然観察センター」の指定管理事業

- ・ホームページの充実を図るとともに、「自然の郷」と連携した広報・PRに努める。また、平日イベントの開催、夏休み期間中の無休開館を実施する。
- ・カルスト探検、天体観測等の自然観察会やアートフラワー講座、ガイド研修などの講習会を実施し、自然保護の重要性の普及・啓発をすすめるとともに、ボランティアの指導育成に努める。

V 平成 24 年度予算

収支予算書

〔 自 平成 24 年 4 月 1 日
至 平成 25 年 3 月 31 日 〕

(単位：千円)

勘定科目	平成 24 年度予算
(営業損益の部)	
売上高	257,365
売上原価	225,590
一般管理費	27,872
営業利益	3,903
(営業外損益の部)	
営業外利益	540
受取利息	160
その他営業外収益	380
営業外費用	0
営業外利益	540
税引前当期利益	4,443
法人税・住民税及び事業税	2,800
当期利益	1,643

VI 役員名簿

平成 24 年 7 月 1 日現在

役員の種類	氏名	所属
代表取締役	木下伸生	社長
取締役	古賀敬三	北九州市総務企画局長
〃	石松秀喜	北九州市産業経済局長
〃	藤澤常憲	北九州市建設局長
〃	山田高寛	三菱マテリアル(株)九州工場副工場長
〃	根石紀雄	(株)ユアーズ代表取締役
〃	安藤俊作	住友大阪セメント(株)小倉事業所副所長
監査役	糸永卓見	(株)太平設計代表取締役社長
〃	川本惣一	(株)西日本シティ銀行常務取締役北九州総本部長